



北海道コンサドーレ札幌

コンサドーレを入口にした生物多様性への取り組み 1/2

コンサドーレは円山動物園ならびにバードライフ・インターナショナル東京との間で連携協定を締結いたしました。その締結に基づき9月26日のホームゲームにて3者間でイベントを実施いたしました。試合前札幌ドーム内サッカー体験コーナーの一角に円山動物園の専門解説員及びバードライフ・インターナショナル東京のプログラムオフィサーを招き、クラブマスコットのドーレくんと共に生物多様性を学習しました。当日は限られた時間の中で多く方に参加していただきサッカーを入口に生物多様性を学ぶきっかけになったと考えております。



活動場所 札幌ドーム



協働者

NPO、行政

協働者名

バードライフ・インターナショナル東京、
札幌市円山動物園



協働者の声

札幌市円山動物園／神 賢寿 氏



絶滅危惧種に指定されているシマフクロウのドーレくんがマスコットであるコンサドーレ様と生物多様性保全への取り組みができ大変嬉しく思っております。道内で存在感のあるコンサドーレ様と共にサッカーというスポーツを入口として生物多様性保全に関する活動に対し更に注力し展開できることを非常に楽しみにしております。



活動詳細情報

1

[公式サイト\(リリース\)](#)

2

[公式サイト\(イベント案内\)](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ





北海道コンサドーレ札幌

コンサドーレを入口にした生物多様性への取り組み 2/2

Story

「PASS」は北海道コンサドーレ札幌がスローガンである「北海道とともに、世界へ」を実現するためのプロジェクトの一つである。クラブ創立25周年を機に、北海道全土を本拠地とするクラブとして更に地域との結びつきを強め、持続可能なクラブ運営を行うための大きなチャレンジである。

発足にあたりサッカークラブの強みを生かしつつ、「健康」「教育」「環境」の3分野へ注力し既存の枠にとられない活動を通じて北海道の人々に誇ってもらえるようなクラブを目指したい。

今回は一例として円山動物園とバードライフ・インターナショナル東京との協働プログラムである試合日の活動を紹介した。今回の取り組みは「環境」「教育」に大きく寄与をすることができる内容であり、コンサドーレがハブになることでサッカーを入口に世の中の事を学ぶことができる枠組みであると考えている。

コンサドーレは札幌ドームでの試合時に来場者が身体を動かしてスポーツを楽しむことができるスペースを設けている。今回の取り組みはそこに訪れる人に対してサッカーやコンサドーレを入口に少しでも生物多様性について関心を抱いて欲しく企画を行った。

円山動物園とバードライフ・インターナショナル東京の専門家がモニターを用いて分かりやすく生物多様性について授業を行い、特別ユニフォームを着用したドーレくんも参加し盛り上がりを見せた。ドーレくんはシマフクロウであり、絶滅危惧種に指定されている。このことからコンサドーレファミリーに対して何かしらの働きかけができるのではない



かと模索していたタイミングでの3者間の連携協定締結であり、今回のプログラムの実施であった。

今回のプログラムをきっかけにより多くの人々を巻き込みつつ、「PASS」を強化していきたい。

